

先生・お薦めの一冊

『不動心』 松井 秀喜 著 (新潮社)

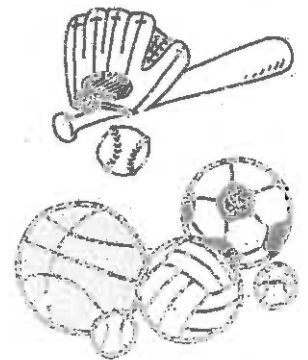
理科 谷口隼大先生

私がこの本を読んだのは大学4年生の4月だった。当時私は全国大会出場を狙えるサッカー部で、なんとかしてAチーム入りを果たそうと努力していたが、Aチームのメンバーに入れずモチベーションがかなり落ちていた時期だった。そんな時、サッカー部の同級生に勧められて読んだのがこの本だった。

メジャーリーガーとして競技で活躍すると共に、その人間性が高く評価されていた著者がどのようにして自分の心をコントロールしているのか、普段何を考えて行動しているのか、競技は異なるが同じスポーツマンとして興味を持って読んでみた。

その中で最も印象に残り、今では私の座右の銘となっている言葉が「人間万事塞翁馬」である。この言葉は、世の中の出来事は自分の思い通りにいかないことがほとんどであり、しかもそれらが自分にとって良いことなのか悪いことなのかは後々になってみなければ分からない。なので、一つ一つの出来事にいちいち一喜一憂して心を乱すべきではない。そういう意味の言葉である。元々は中国の前漢時代の故事に由来する言葉である。この本には、これ以外にも著者が数々の経験を通して培った「失敗との向き合い方」や「マイナスをプラスに変える思考法」が沢山書かれている。

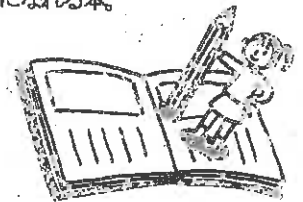
モチベーションが下がっていた自分を、再びサッカーを頑張ろうという前向きな気持ちにしてくただけではなく、その後、自分との向き合い方にも大きな影響を与えてくれた大切な本である。部活動生だけではなく、勉強などで行き詰まっている生徒にも是非読んでもらいたい。



新着図書



- * 『英国一家、フランスを食べる』 マイケル・ブース 著 (飛鳥新社) ・あの英国人親子、今度はフランス料理を食べるらしい!
- * 『先生、物理っておもしろいんですか?』 パリティ編集委員会 編 (丸善出版) ・もちろん! 物理は楽しい学問です。
- * 『栄養素キャラクター図鑑』 田中明 監 (日本図書センター) ・栄養士を目指す人は読んでおきましょう!
- * 『ここまで進んだ次世代医薬品』 中西貴之 著 (技術評論社) ・薬学部志望の皆さん、読んでおきましょう。
- * 『さりげなく思いやりが伝わる大和言葉』 上野誠 著 ・美しい日本語を大切にしたいものです。
- * 『世界でもっとも貧しい大統領 ホセ・ムヒカの言葉』 ホセ・ムヒカ 著 (双葉社) ・ウルグアイ大統領の言葉。
- * 『バトル式 歴史偉人伝』 ペリー・荻野 著 (新潮社) ・偉人たちの意外な一面を紹介した歴史書。
- * 『偉大なる失敗』 マリオ・リヴィオ 著 (早川書店) ・天才科学者たちの失敗から学ぶ科学入門書。
- * 『王とサーカス』 米澤徳信 著 (東京創元社) ・米澤ミステリーの記念碑的傑作! 米澤ファン以外の人にも読んでもらいたい一冊です。
- * 『ヒトリコ』 額賀澤 著 (小学館) ・いじめにあった少女が孤独の中に見つけた光。温かな気持ちになれる本。
- * 『家族スクランブル』 田丸雅智 著 (小学館) ・星新一の弟子が書いたショートショート。
- * 『東京帝大叢古教授』 門井慶喜 著 (小学館) ・登場人物も読み手も頭を使う推理小説。
- * 『あの家に暮らす四人の女』 三浦しをん 著 (中央公論) ・三浦しをんが描く現代版『細雪』



小論文に役立つ新書

- * 『ルポにつぼんのごみ』 杉本裕明 著 (岩波新書) ・日本のごみは年間約4億2000万トン! ごみはどこへ行くのだろうか。
- * 『文系の壁』 養老孟司 著 (PHP新書) ・理科系の思考で、文化系の問題を考えたらどうなるのだろうか?
- * 『日本人が知らない漁業の大問題』 佐野雅昭 著 (新潮新書) ・鹿児島大学水産学部教授の本! 鹿大水産学部志望者必読図書。
- * 『私とは何か』 平野啓一郎 著 (講談社現代新書) ・本当の自分を探そう。

この夏、チャレンジしました！

「高校生図書館ボランティア養成講座」

7月19日(日)、2年7組の鶴愛寿美さん、岩崎未有さんの二人が、鹿児島県立図書館で開催された高校生図書館ボランティア講座を受講しました。講座では図書の分類方法や、本の並べ方などを学んだほか、子供たちへの絵本の読み聞かせにもチャレンジしました。また、図書館内の見学では書庫の中の貴重な資料を見ることができたそうです。図書館の仕事が少しだけ分かった半日だったそうです。来年も、たくさんの方に参加してほしい講座です！



「鹿児島県高校生ビブリオバトル大会」

8月30日(日)、2年7組の岩崎未有さんが、第1回鹿児島県高校生ビブリオバトル大会に参加しました。ビブリオバトルとは、参加者がグループに分かれ、5分間で本のプレゼンテーションを行います。観戦者からの質問を受け、その受け答えなどから最も読みたくなった本を「チャンプ本」とする新しい本の紹介方法です。岩崎さんの紹介した本は、桜庭一樹の『伏 慶作・里見八犬伝』(文藝春秋)。しっかり読み込んでの挑戦でした。「チャンプ本」こそ逃したものの、多くの人に『伏』の面白さを伝えることができたようです。来年は、あなたのチャレンジを待っています！

7・8月クラス別貸出統計

4月の総貸出冊数 844冊 5月の総貸出冊数 311冊 6月の総貸出冊数 454冊

7月のクラス別貸出統計 貸出合計冊数 235冊

学年 組	1年								2年								3年							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
貸出数	11	1	14	11	18	17	38	1	4	11	0	6	19	11	5	0	2	14	5	7	19	3	13	5
合計	111冊								56冊								68冊							

8月のクラス別貸出統計 貸出合計冊数 64冊

学年 組	1年								2年								3年							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
貸出数	2	1	5	0	0	1	15	0	1	3	0	0	7	0	4	0	0	5	3	4	5	2	1	5
合計	24冊								15冊								25冊							

* 7月の貸出が少なかったことが残念です。いよいよ読書の秋の到来です。読書を楽しんでください。

連休・秋季休業中の学習室利用時間について

9月19日(土)～9月23日(水)、9月26日(土)～9月30日(水)

8時30分開館 16時30分閉館

* 昼食・視聴覚室開放 12時～13時(ゴミは必ず持ち帰る。)

編集後記



桜島噴火警戒レベル4……。しばらくの間、放課後は閉館でしたが、レベル3にもどったことを受けて9月からは平常開館となりました。自然に対して人間は無力であることを知りました。大きな被害がなく一安心。噴火には慣れっこになっていましたが、桜島が活火山であることを改めて感じた数週間でした。少しずつ秋めいてきました。一・二年生の皆さんは、いろいろな事をコツコツと積み上げていく時です。日々の学習や読書で、知識と知恵を積んでいきましょう。三年生の皆さんは、今まで積み上げてきたことに付加価値を付けていく時です。それぞれの目標に向かって、頑張りましょう！後期も学習室で勉学に励み、そして、何より沢山の本を読んでください。